

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）通信

事業者名： メイクカンパニー合同会社

※実施内容については、要綱別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）		実施計画					
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数				実施内容	
1	職務の理解 6時間	1	職務の理解 6時間	時間数	うち通学	うち通信	1 職務の理解
	(1) 多様なサービスの理解		(1) 多様なサービスの理解	3	3	/	(1)
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3	/	(2)
2	介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	2	介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	時間数	うち通学	うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援
	(1) 人権と尊厳を支える介護		(1) 人権と尊厳を支える介護	5	1	4	(1)
	(2) 自立に向けた介護		(2) 自立に向けた介護	4	0.5	3.5	(2)
3	介護の基本 6時間	3	介護の基本 6時間	時間数	うち通学	うち通信	3 介護の基本
	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	(1)
	(2) 介護職の職業倫理		(2) 介護職の職業倫理	2	1	1	(2)
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1	0.5	0.5	(3)
	(4) 介護職の安全		(4) 介護職の安全	1	0.5	0.5	(4)
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	時間数	うち通学	うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
	(1) 介護保険制度		(1) 介護保険制度	4	0.5	3.5	(1)
	(2) 障害者総合支援制度及びその他の制度		(2) 障害者総合支援制度及びその他の制度	2	0.5	1.5	(2)
	(3) 医療との連携とリハビリテーション		(3) 医療との連携とリハビリテーション	3	1	2	(3)

5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	
(1) 介護におけるコミュニケーション	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	
6 老化の理解 6時間	
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	
(2) 高齢者と健康	
7 認知症の理解 6時間	
(1) 認知症を取り巻く状況	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	
(4) 家族への支援	
8 障がいの理解 3時間	
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	

5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	時間数	うち通学	うち通信	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	(1)
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	(2)
6 老化の理解 6時間	時間数	うち通学	うち通信	6 老化の理解
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	(1)
(2) 高齢者と健康	3	1.5	1.5	(2)
7 認知症の理解 6時間	時間数	うち通学	うち通信	7 認知症の理解
(1) 認知症を取り巻く状況	1.5	0.5	1	(1)
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	1	0.5	(2)
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	1	0.5	(3)
(4) 家族への支援	1.5	0.5	1	(4)
8 障がいの理解 3時間	時間数	うち通学	うち通信	8 障害の理解
(1) 障害の基礎的理解	1	0.5	0.5	(1)
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	(2)
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	(3)

9 ころとからだのしくみと生活支援技術 75時間	
ア 基本知識の学習 10~13時間	
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習 50~55時間	
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、生活保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護	
ウ 生活支援技術演習 10~12時間	
(13) 介護過程の基礎的理解	
(14) 総合生活支援技術演習	

9 ころとからだのしくみと生活支援技術 75時間		うち通学	うち通信	9 ころとからだのしくみと生活支援技術
ア 基本知識の学習 10時間	時間数	うち通学	うち通信	ア 基本知識の学習
(1) 介護の基本的な考え方	3	2	1	(1)
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	3	2	1	(2)
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	2	2	(3)
イ 生活支援技術の講義・演習 54時間	時間数	うち通学	うち通信	イ 生活支援技術の講義・演習
(4) 生活と家事	3	1	2	(4)
(5) 快適な居住環境整備と介護	3	2	1	(5)
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7.5	0.5	(6)
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7.5	0.5	(7)
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7.5	0.5	(8)
(9) 入浴、生活保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7.5	0.5	(9)
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7.5	0.5	(10)
(11) 睡眠に関したころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	4	1	(11)
(12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護	3	2.5	0.5	(12)
ウ 生活支援技術演習 11時間	時間数	うち通学	うち通信	ウ 生活支援技術演習
(13) 介護過程の基礎的理解	3.5	3	0.5	(13)
(14) 総合生活支援技術演習	7.5	7	0.5	(14)

第1-2号様式

10 振り返り	4 時間
(1) 振り返り	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
追加カリキュラム	
計	( 130 時間)

10 振り返り	4時間	時間数	うち通 学	うち通 信	10 振り返り
(1) 振り返り		2	2	/	(1)
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		2	2	/	(2)
計	130時間 )	130	90	40	

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。（別紙でも可）
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。